

県外からの教育旅行を増やすために

三宅和広 議員



「教育旅行」とは、
修学旅行や遠足のよ
うな学校行事の一環
として行われる旅行
とされ、規模が大き
く、大きな経済効果

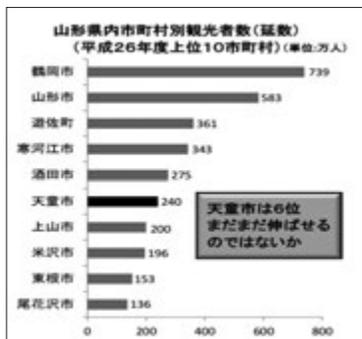
が望まれる。天童市が持つて
いる資源を活かせば、天童市
でも多くの教育旅行を受け入
れることができるのではない
か。例えば、仙台市教育委員
会や旅行業者に働きかけ、仙
台市内の小学生や中学生から
天童市に来ていただき、天童
高原でのスキー教室や農業体
験、書き駒などを体験してい
ただいてはどうか。

山本市長 教育旅行の誘致強
化を図るために、本年3月下
旬に山形県、市町村観光協
会、業界団体などが新たな組
織を設立し、市場動向の把握
や情報の共有に力を入れ、大
都市圏でのセールス活動を強
化すると聞いている。本市に
は大きな団体が宿泊できる施
設があるので、本市としても
関係団体と連携しながら本市
独自の魅力を発信し教育旅行
の誘致に努めていきたい。

インバウンドの 取り込みについて

観光振興にとってインバウ
ンド需要の取り込みは今後、
ますます重要になってくる。
天童市ではインバウンド需要
を取り込むために、どのよう
な取組みをしているか。ま
た、海外での誘致活動に観光
施設の関係者や農家の方が同
行すると誘客の効果があると
思うが考えを伺いたい。

山本市長 昨年9月に天童温
泉協同組合が台湾で商談会を
開催した際に、市職員1名が
同行したほか、費用の一部を
補助した。その成果として10
月から2月までの台湾からの
宿泊者が前年に比べ533人
増加した。今後とも関係団体
と連携して取り組んでいく。



▲平成26年度山形県観光者数調査を基に作成